

授業科目	保育内容「健康」(ABクラス)				単位	1		
履修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31403J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	藤田 稔子							
授業概要	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園における領域「健康」のねらい・内容に基づいて、子ども達が生きていくためのベースである健康的な生活基盤をどう育てるかについて講義および演習で授業を進めていきます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園・保育所・認定こども園における保育所保育に関する基本原則及び幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい・内容を知り、理解することができる 2. 領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点が理解できている 3. 領域「健康」において、乳幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりが理解できる 4. 乳幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性が理解できる 5. 領域「健康」の特性や乳幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる 6. 子どもの体力、健康・安全への発達の過程を理解し、それに応じた援助方法を考察することができる 7. 安全性の高いと外あそびが計画できる 8. 子ども自身が育む生活習慣・安全教育・病気の予防対策への援助方法が考察できる 9. 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる 10. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけることができ、かつ、保育・幼稚園教育における評価の考え方を理解することができる 11. 領域「健康」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる 12. 保育所保育指針における「養護」の観点と領域「健康」とのつながりが理解できている 13. 乳児保育及び1歳以上3歳未満児、3歳以上児の保育における領域「健康」の各内容と演習で体験するあそびが結びつけることができる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	10	0	50	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		20					20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			10	0	25	10	45	

技能・表現 (DP5-3)			0	25	10	35		
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
保育における「健康」が理解でき、発達に即した環境構成や教材研究の実際を経験した後も、さらに保育内容を探究していくができる。				領域「健康」のねらい・内容が理解でき、子どもの体力をはじめとする発達に即した指導方法・援助を導き出すことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)				
1	テーマ:オリエンテーション・保育内容の領域「健康」 本科目の内容と授業の受け方の説明をします。その後、保育課程や教育課程のなかでの領域「健康」の位置付けと「ねらい」「内容」を解説します。	遠隔授業	予習:シラバスを読む 復習:教科書 69～86 ページを読む	30				
2	テーマ:子どもの生活習慣の発達① 生活習慣の獲得過程を示し、こどもが生活習慣を身につけるために必要なことを解説します。	遠隔授業	予習:教科書 25～32、101～112、125～134 ページを読む 復習:授業の最後に提示します	30				
3	テーマ:子どもの生活習慣の発達② 生活習慣の獲得過程を示し、こどもが生活習慣を身につけるために必要なことを解説します。	遠隔授業	予習:教科書 25～32、101～112、125～134 ページを読む 復習:授業の最後に提示します	30				
4	テーマ:子どもの食の問題 子どもを取り巻く食に関する問題を解説し、健康作りとしての「食」の在り方を考察します。	遠隔授業	予習:教科書 171～180 ページを読む 復習:授業の最後に提示します	30				
5	テーマ:子どもの体力の発達 最近の子ども達の体力について解説し、体力作りに必要な保育環境を考察します。	遠隔授業	予習:教科書 33～58、93～100、135～146 を読む 復習:授業の最後に提示します	30				
6	テーマ:子どもの安全への意識の発達 子どもの認知的発達を確認し、安全への意識作りと保育者の役割を考察します。	遠隔授業	予習:教科書 59～68、153～162 ページを読む 復習:授業の最後に提示します	30				
7	テーマ:小テスト第1回・領域「健康」指導計画1 これまでの学習の振り返りとしての小テストをおこないます。その後、具体的な保育の指導計画の組み立てを一緒に組み立てて、第9回目以降の進行について説明をします。	遠隔授業 小テスト	予習1:小テストに備えた勉強 予習2:教科書 113～124、147～152、163～169 ページを読む 復習:準備を整える(授業時に説明します)	90				
8	テーマ:戸外あそびと環境構成 特に、戸外環境(遊具、自然環境)について、実際の公園の写真を見ながらしながら子ども達のあそび環境を一緒に考えていきます。	遠隔授業	予習:教科書 81、121～124、135～152 ページを読む 復習:復習:課題に取り組み、次回授業開始時間までに提出する	30				
9	テーマ:領域「健康」の基礎知識のまとめ これまでの学びを振り返り、次回から始める具体的な保育計画について準備をすすめる。	遠隔授業	予習:これまでの学びの手持ち資料を整理しておく 復習:課題に取り組み、次回授業開始時間までに提出する	30				
10	テーマ:領域「健康」指導計画2	遠隔授業	予習:事前に提示した準備をしてくる	30				

	「食への関心を高める」に関して、ねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成します。		復習:シェアリングができるように準備を整える(授業で説明します)	
11	テーマ:領域「健康」指導計画3 「食への関心を高める」に関して、ねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成し、みんなとシェアします(模擬保育としての発表)。	遠隔授業	予習:シェアリングができるように準備を整える(前回授業で説明します) 復習:指導計画を完成させて次回授業開始時間までに提出する	30
12	テーマ:領域「健康」指導計画4 「危険や安全に関心をもつ」に関して、ねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成します。	遠隔授業	予習:事前に提示した準備をしてくる 復習:シェアリングができるように準備を整える(授業で説明します)	30
13	テーマ:領域「健康」指導計画5 「危険や安全に関心をもつ」に関して、ねらいに沿った発達段階を踏まえた指導案を立案し、それに必要な教材を作成し、みんなとシェアします(模擬保育としての発表)。	遠隔授業	予習:シェアリングができるように準備を整える(前回授業で説明します) 復習:指導計画を完成させて次回授業開始時間までに提出する	30
14	テーマ:小テスト第2回・5領域のなかの領域「健康」前回のシェアリングの講評をします。また、総合的な視点の指導計画において、領域「健康」がどのように関わってくるのかを考察します。	遠隔授業 小テスト(まとめのレポート含む)	予習:小テストに備えた勉強 復習:本科目の総復習をする	90
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	「こどもの運動あそび」、「保育内容総論」、「保育の心理学」は関係が深い科目です。関連付けて授業に臨んでください。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパス 保育内容 健康、前橋明(編著)、建帛社、2018、2400 円+税 ・平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考にして欲しい雑誌:各種保育雑誌(「保育のひろば」や「月刊保育とカリキュラム」など)の実践の頁
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目は、日常生活習慣に密着した内容がほとんどです。自分自身の日々の生活を見つめ直しながら授業に臨んでください。また、演習が中心の授業です。積極的な姿勢が大切です。
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> (1)小テスト:2 回実施し、採点後はテストを返却しますので学びの見直しに活用してください。 (2)レポート:第 14 回に本科目の学びについてのレポートを授業時間内に課します。 (3)レポート外の提出物:本講第 1 回～6 回・7～8 回の課題。第 9 回以降で作成した教材を評価します。 (4)その他:毎回の授業コメント、シェアリングの時にチャット投稿、教材作りの取り組みの様子で評価します。